

主な申請様式の記入例

様式第1号（第3条関係）

＜＜記入例＞＞

年度補助金交付申請書										
令和●年●月●日										
住所又は所在地 島本町桜井●一●一●										
交付申請者										
氏名又は名称及び代表者氏名 ●●●の会 島本 太郎										
島本町長 様										
		補助金		交付申請書						
		負担金								
		助成金								
	金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円	一
				金	5	0	0	0	0	一
ただし 令和●年度島本町障害者自発的活動支援事業補助金として										
下記理由書により						補助金		交付願いたく申請いたします。		
						負担金				
						助成金				
理由書										
島本町障害者自発的活動支援事業補助金交付要綱第4条の補助金の対象となる事業を実施するため。										

事業計画書

1 申請団体の状況

団 体 名	●●●の会	設立年月日	平成●年●月●日
代 表 者	(氏名) 島本 太郎 (住所) 島本町桜井●-●-●	(電話番号) 962-●●●●	
補助対象事業 の 担 当 者	(氏名) 桜井 花子 (住所) 島本町青葉●-●-●	(電話番号) 961-●●●●	
主な活動内容	障害児(未就学)を対象にした療育訓練の実施 家族による情報交換、相談		
会 員 数 (申請日時点)	総数 20人 (内訳)・町内在住の人数 (20) 人 ・町内在住の障害者及びその家族の人数 (18) 人		

2 補助対象事業の状況

事 業 名	●●訓練事業
事 業 区 分	※次のうち、いずれか1つの番号を○で囲むこと。 1 ピアサポート 2 災害対策 3 見守り 4 社会参加 5 ボランティア養成 6 理解促進 7 療育・スポーツ等 8 その他
事 業 の 目 的	早期療育の推進、家族・児童の交流と情報交換
事業の対象者	町内在住の知的・発達障害児（未就学）
事業の内容	月1回、●●療法の講師を招き、療育訓練教室を開催
周知(募集)方法	広報しまもと(年2回)、団体ホームページで周知、チラシ(役場に設置)
実 施 場 所	●●公民館
実施時期・回数	(時期) 毎月第2土曜 10時～12時 (回数) 年12回
参加予定者数	総数120人（※複数回実施の場合：1回当たり平均10人） (内訳)・障害者 5割（※うち会員7割） ・家族 5割（※うち会員7割） ・その他地域住民等 割（※うち会員割）

※補助対象事業が複数ある場合は、上の表を追加し、事業ごとに状況を記載すること。

※参加予定者数欄には、可能な範囲で参加者の内訳割合を記載すること。また、複数回実施する場合は、総数は延べ人数を記載し、1回当たりの平均人数も記載すること。

収支予算書

1 収入

区分		金額	明細
町補助金 A		50,000	障害者自発的活動支援事業補助金
その他収入	団体の自己資金	103,000	
	参加者負担（参加費等）	12,000	100円×10人×12回（ドリンク代）
	寄付金		
（その他収入・小計）B		115,000	
収入合計 C （A+B）		165,000	

2 支出

区分		金額	明細
補助対象経費	報償費	120,000	講師謝礼 10,000円×12回
	旅費	12,000	講師交通費 1,000円×12回
	消耗品費		
	印刷製本費	5,000	チラシ印刷代
	通信運搬費		
	使用料及び賃借料	6,000	会場使用料 500円×12回
	備品購入費	10,000	訓練用備品（マットレス）
	その他（ ）		
（補助対象経費・小計）D		153,000	
対象外経費	食糧費	12,000	参加者ドリンク代 1,000円×12回
（対象外経費・小計）E		12,000	
支出合計 F （D+E）		165,000	

3 補助金計算表

区分	金額	備考
①補助対象基本額	50,000	Dの金額とF-Bの金額のうちいずれか低い方の金額
②補助限度額	50,000	
③補助金交付申請額	50,000	①と②のうちいずれか低い方の金額（千円未満の端数切捨て）※Aと同額となる。

※補助対象事業が複数ある場合は、その他収入、補助対象経費、対象外経費の各明細欄又は別紙に事業ごとの内訳を記載すること。